米沢有為会の置賜人脈

米沢の玄関口から 置賜への観光推進

米沢有為会米沢支部の理事会・諮問委員会、講演会と交流芋煮会、そして地域振興部の新規事業である高校生小論文コンテストの表彰式が、10月28日(日)午後2時からホテルモントビュー米沢で開催されました。

表彰式では、10名の受賞者のうち出席した6名に、大滝則忠会長から賞状と副賞が授与され、講評が述べられました(詳細は会誌第68号)。

講演会は、講師に道の駅米沢の駅長・坂川好則氏を迎え、「道の駅米沢 開業から半年を経過して」と題して、4月20日(金)の開業から10月までの運営状況などについてお話いただきました。

坂川駅長は北海道出身で、昭和51年旧国鉄(札幌)に入社、同62年民営化と同時にJR東日本へ(仙台)。郡山・仙台・米沢の各びゅうプラザを経て、平成19年から3年間米沢駅長、30年4月より現職。米沢在住20年。

坂川氏によると、道の駅米沢の基本コンセプトは、国から重点道の駅の指定を受けた「ゲートウェイ型」で、「テーマパーク型」とは違い、買い物と食事が運営の中心で、そこから米沢や置賜、県内の観光を推進しているとのこと。

4月から9月までの来場者は977,000人以上で、10月5日に100万人を突破し、年間目標の853,000人を大幅に上回りました(1月27日現在1,468,530人)。半数以上が県外客で、福島や宮城、関東からが特に多いそうです。今後とも農産品や特産物の販売、おいしい料理に力を注ぐとしています。

第 38 号
平成31年 2月15日
発行者
(公社)米沢有為会米沢支部
支部長 中川 勝
米沢市金池5-2-25
☎ 0238-22-5111

米沢信用金庫理事長 加藤 秀明

少子高齢化時代に際して

米沢信用金庫は相互扶助を基本理念として、①地域の活性化②中小企業の発展③住民の生活向上を目指しております。地域金融機関であることから、皆様には、日頃から様々なご支援を頂き心より感謝申し上げます。

私の大学入学は昭和48年です。当時は学生運動が活発で、五木寛之の「青年は荒野をめざす」、南こうせつらの「神田川」、ガロの「学生街の喫茶店」等が流行った頃でもあり、都会に憧れ東京や仙台の大学進学を希望する学生が多かったような気が致します。私も自分にもれず東京で学生生活を送りましたが、「米沢出身です」と言うと「興譲館ですか?」「興譲館卒業です」と言うと「上杉鷹山や我妻榮を知っています」と返答され、羨ましがれることも度々でした。

また、当時は携帯電話のない時代。連絡手段は公衆電話や郵便が中心であり、高校時代の友人との連絡もままならない状況でした。幸い調布の東京興譲館寮に数名の友人が居り、そこを中心に連絡網があったことから、寮に電話さえすれば、一発でコミュニケーションが取れ、同朋意識も強かったこと

が思い出されます。その後の待ち合わせ場所は、もちろん、新宿西口のしょんべん横丁、将来を夢見て様々な議論を交わしたものです。

時は移り、今は少子高齢化の時代。地方の人口流出に歯止めをかけるため、「地元の高校を出て地元の大学に入り地元で就職する」ことが若者に求められております。一見、合理的で地域住民としては歓迎したいことでもあります。人生の最も多感な時期に地方にとどめ置き、若者の可能性を狭めてしまうような選択が果たして良いことなのか、また国際化が急激に進展する中で時代に即していることなのか、即物的に過ぎないかどうかなど疑問も残ります。

早稲田大学の故大塚勝夫教授は高島の屋代村塾に都会の若者を集め、「都市と農村の共生」や「田舎生活の様々な優位性(自然、景観、環境、空間、時間、食物、生活コスト等)」を説き、Uターン人口やIターン人口を増やそうと試みました。現在はダイバーシティ(多様性)の時代です。そのような取組を更に強化することも大切なのではないのでしょうか。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

まちの話 題

エスディージーズ

『飯豊町SDGs』

未来都市の取組

「持続可能なまちの実現に向けて」

平成30年6月、飯豊町は「SDGs 未来都市」として国から選定されたことを受け、持続可能な都市の実現に向けた取組をさらに推進していきます。

【SDGsとは】

SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）の頭文字をとった略

称です。国連加盟国193カ国が2030年までに達成する目標として掲げたもので、持続可能な世界を実現するための17のゴール（目標）と169のターゲットから構成されています。世界の誰一人として取り残さないことを誓い、全ての国が取り組む全世界的な目標です。

【SDGsとまちづくり】

飯豊町では、全国的にも早い時期から、住民自身が自らの地域のあるべき姿を描く「手づくりのまち」づくりを推進してきました。また、「日本で最も美しい村」連合に加盟し、地域資源を活用した自立したまちづくりに取り組んできました。

私たちが目指す未来都市像は、多様な主体と連携しながら、地域資源を活用し、新たな「手づくりのまち」を推進することで、過疎の農山村における新たな自治体モデルの実現を目指します。

【「農村計画研究所」の再興】

日本で初となる町立の「農村計画研究所」は、昭和59年に、手ノ子小学校旧大鹿分校に開設されました。研究所では、農山村を単なる農業生産の場と捉えるだけでなく、国土保全、生活、環境などの

多様な空間機能を果たす農山村のあり方を研究し、地域密着型の地域づくりの実践の場として活用されてきました。

今後、研究所機能を再整備し、住民と行政のみならず多様な主体が相互に連携することで、持続可能な地域と農山村における新たな価値の創出を目指します。

【地域資源を活用した循環型産業構造と居住環境の整備】

飯豊町は、食糧、農業、エネルギーなど、さまざまな面から「持続可能な循環型社会構築への取組」を進めてきました。平成29年には、「バイオマス産業都市」の認定を受け、地域資源を活用した再生可能エネルギーの活用をさらに発展させてきました。

さらに、家畜排せつ物などを活用したバイオガス発電事業に着手し、臭気対策を含め、環境に配慮した耕畜連携の循環型農業への取組を推進します。

新しく会員になられた方々

氏名	会員区分
鈴木 讓	個人正会員
佐藤 知由	個人賛助会員
遠藤 友紀雄	個人賛助会員
岡崎 彰伸	個人正会員
武発 一郎	個人賛助会員
吉田 建設(株)	法人賛助会員

リレー随想 ⑬

中條 良文
中條 良文 文部

第18回東京オリンピック（昭和39年）の翌年4月、4〜5倍の倍率の中、新宿区西大久保の東京興譲館寮に入寮した私は紅顔の美少年でした。大学入学式前、寮の前庭の桜の木の下で花見が行われ、お酒の洗礼（白雪二級酒）を受けました。大ぶりの紙コップ6杯までの記憶があります。が、その後は真新しい布団の上で撃沈、隣では現有為会会長の大滝則忠氏が撃沈しておりました。

寮生は有為会東京支部総会、浜離宮の園遊会でのお手伝いの中、各流で活躍されている郷土の先輩方と交流を深め、貴重な経験を積むことができました。宇佐美洵第21代日銀総裁の恰幅の良い紳士姿にはオーラを感じた思い出があります。

昭和41年秋には、西大久保上杉家下屋敷の寮から、調布市入間町の鉄筋コンクリート4階建へ移りました。寮食堂の白黒テレビでは、「3億円強奪事件」、「アポロ11号月面着陸」の映像を見た記憶があります。昭和44年3月、4年間の寮生活を終える時には饒別で「X線診断図譜」を購入し、14代館長桜井凱夫先生（医師）から裏表紙に「至誠」の言葉を頂き、臨床の場で今も使っております。15代小幡常夫館長には寮生時代だけでなく、社会人となってからも薫陶を受け成長できたと感謝しております。

学生諸君には寮生活を通して郷土の先輩、後輩のみならず、各界の方々の地縁、人脈を活かし人間力を高めて欲しいと思います。今年6月22日には米沢有為会創立130周年、東京興譲寮創立120周年記念事業が行われます。関係各位のご協力によりしくお願いいたします。

～ 活躍する会員紹介 ～ ⑳

米沢上杉文化振興財団副理事長・市立米沢図書館長

岸 順 一 さん

着き、静かに本を読みたい方や調べもの・学習をしたい方が来館者の中心となっています。

Q1. 市立米沢図書館の仕事についてお聞かせください。

A1. 本館は市立米沢図書館とよねざわ市民ギャラリーを合わせ持つ施設で、ナセBAの愛称で親しまれ、図書館長は図書館と同時に市民ギャラリーの管理も担っています。図書館には30万冊を超える図書資料があり、最大の特色である米沢藩伝来の多くの古典籍・古文書を貴重書庫で大切に保管しています。2階から5階まで続く壁一面の本に囲まれた図書館開架スペースで、ゆっくり本を読んだり、1階市民ギャラリーで絵画をはじめとする芸術作品に感動したりと、ナセBAは市民の皆様へ人生の豊かなひと時を提供しています。

Q2. 利用状況についてお聞かせください。

A2. ナセBAは平成28年7月の開館から3年目を迎え、昨年12月で来館者が100万人を突破しました。1日平均1,000人程の皆様にご利用頂いています。2階図書館へは当初、建物をご覧になりたい方の来館も多かったのですが、最近は来館者数も落ち

Q3. 現在の課題についてお聞かせください。

A3. 特に、図書館を訪れたことのない方に対する利用促進、そして、一度来館された方がまた来たいと思うような図書館となるよう、時代の変化に対応した図書資料の充実やサービスの向上、多彩な企画が必要と考えています。来年度、図書館では本の魅力を探る読書会やグローバル化に対応する英語多読サロン、先人顕彰コーナーの平田東助展、市民ギャラリーでは当市ゆかりの福王寺一彦・荒木みどり個展や芸術作品に囲まれた中で音楽を聴くウッドイーコンサートを実施する予定です。

Q4. 今後の抱負についてお聞かせください。

A4. 生涯学習や情報収集、芸術文化活動の拠点として、市民の皆様へ愛され育てられるナセBAを目指し努力して参ります。機会があれば、是非お立ち寄りください。

ありがとうございました。今後ますますのご活躍をご期待申し上げます。

米沢有為会米沢支部だより

米沢有為会を 支援します

太田建設株式会社
代表取締役
太田 政 往

昭和40年、「地元米沢で土建業を
始めたい」という父の思いから始ま
りました弊社は、創業54年目を迎
えることができました。現在は、置賜
地域を中心とした総合建設業を営ん
でおります。

私は大学を卒業後、米沢に戻るま
での2年半、福島建設会社にお世
話になっておりました。その頃の弊
社は、公共事業の土木工事が大半で、
建築はまだまだ少なく、住宅となる
と数えるほどでした。入社から数年
後、ある住宅の引渡しに同行しまし
た。そこでお客様より頂いた感謝の
言葉が、今まで感じたことのない喜
び、感動となり、「もつと多くの人
に喜んでもらいたい」と強く思うよ
うになり、一般住宅にも力を入れる
ようになりました。お陰様で、地元
工務店として根付くことができました
た。これからも全ての工事に際し、
永年の間に蓄積した技術の更なる発
展に努め、お客様のために一層の品
質向上等、サービスの充実を図る所
存でございます。

さて、私が米沢に帰ってきて間も

ない平成2年頃の事です。長男が生
まれてアパートでは手狭になってき
たので、当時、我妻榮先生の生家を
弊社が所有していたこともあり、あ
の建物を大幅にリフォームし、住ま
いにしようかと計画しておりました。
その矢先、数名の米沢有為会の重鎮
の方々が、「我妻榮先生の生家を保
存したいので譲って欲しい」と来社
され、父はその場で快諾致しました。
その時は、我妻榮先生をはじめ、米
沢有為会についての知識が浅い私で
したが、今は、父が快諾したその理
由を十分過ぎるほど理解しておりま
す。そして何よりも、我妻榮先生の
生家をリフォームせず、本当に良
かったと思っております。
これからも米沢有為会の趣旨に賛
同し、可能な限り支援させて頂きま
す。

編集後記

★本会は新年度創立百三十周年を迎えま
す。6月22日(土)に米沢で定時総会と
記念行事を開催し、他に年間を通じて記
念事業も展開します。
★文化広報部は、『米沢有為会誌』(記
念特集号)の編集と記念展示会を担当す
ることになりました。展示会は本会初め
ての試みで、市立米沢図書館との共催で

ナセBAの先人顕彰コーナーで、「米
沢有為会百三十年の歩み」と題して、
5月24日(金)から6月26日(水)ま
で開催します。
★会員の皆様には、多くのご寄稿や貴
重な資料・写真のご提供などをお願い
するかと存じますが、ご協力のほどよ
ろしくお願い致します。(手)

米沢有為会育英事業の 寮生募集

これだけ便利・これだけ安い・これだけ快適

置賜地域3市5町の在住者・出身者のお子さんを対象に募集しています(在学者も可)

- ◎寮は2食付(朝・夕)で約4.8万円(東京)、約4.2万円(仙台)
- アパートで生活する場合
 - 東京(郊外)で5.5万~6.5万円。他に食費、光熱費など含め仕送り額約10万円程。
 - 仙台で4万~5万円。他に食費、光熱費など含め仕送り額約8~9万円程。
- ◎東京興譲館は新宿駅から約40分。仙台興譲館は市街地まで約3km。
- ◎居室は(東京)個室。(仙台)個室。
- ◎企業の採用担当者は寮生活経験者を評価しており、好印象を抱いている。(協調性、コミュニケーション能力が身に付いている。)

	「東京興譲館」寮	「仙台興譲館」寮
資 格	大学、短大、専門学校及び大学院の在籍生、又は入学予定者(男子のみ)	大学、短大、専門学校及び大学院の在籍生、又は入学予定者(男子のみ)
寮費(月額)	48,000円 個室、朝夕2食付(日・祝除く) 入寮費 38,000円(初年度のみ)	夏季 42,000円程度 冬季 44,000円程度 個室、朝夕2食付(日・祝除く)
募 集 人 員	5名程度(定員24名)	4名程度(定員15名)
面接日・場所	3月10日 米沢、3月23日 東京	3月10日 米沢、3月24日 仙台
面接日・場所	奨学生 3月22日 置賜総合文化センター	

詳しくはホームページ [米沢有為会](#)